

父母懇だより

2011年度

父母懇総会にお集まり下さい!

日時：2011年5月28日(土)

13時30～15時

場所：大東学園高校

リヒテルズ直子氏の講演中止
東北大震災の影響で、来日が延期されたため、講演の中止をせざるを得なくなりました。代替りの学習を考えていますが、残念です。

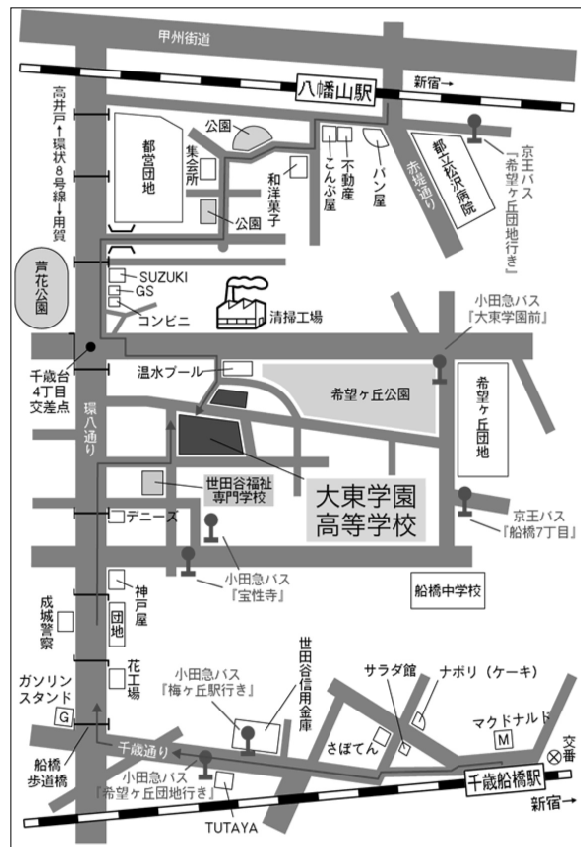
大東学園へのアクセス

●京王線

八幡山駅より 徒歩15分
希望ヶ丘団地行きバス
船橋7丁目下車 徒歩約3分

●小田急線

千歳船橋駅より 徒歩約15分
希望ヶ丘団地行きバス
船橋中学校北下車 徒歩約3分
経堂駅行きバス
宝性寺下車 徒歩約3分
梅ヶ丘北口行きバス
宝性寺下車 徒歩約3分



団体交流

鶴川高校こもれびの会

定期昇給の回復を実現しました

▼第2次賃金裁判勝利により、定期昇給、調整手当、精勤手当の回復を実現しました。しかし、学園は、組合員に対して不当な処分を濫発し、それを理由に再び定期昇給を停止しました。組合は、これに対して団体交渉などで抗議してきましたが、団体交渉自体が交渉にもならない状況が継続されたことから、東京地裁立川支部に提訴しました。この裁判と、現在係争中の「立ち番裁判」、学園が最高裁に特別抗告した裁判を含めると3件の裁判を抱えています。理事長一人による学園支配をなんとしても押しとどめ、保護者・生徒・教職員が手を取り合いながら学校づくりを行えるよう頑張っています。

▼昨年から継続的に、保護者・卒業生・教員そして東京父母懇の役員の方々と共に「学校の再生に向けて」の論議を進めています。

▼5/18（水）午後6時から次回懇談会を行います。行政への要請なども視野に入れ活動中です。

和光小学校親和会

安全対策マニュアル」づくりが進められています

▼4/12に入学式が行われ、6年生に手を引かれた1年生が元気よく式場に入場してきました。2年生から6年生から、手づくりおもちゃやおどりなどのプレゼントがあり、4月28日には1年生と6年生が遊びの会で交流しました。

▼この度の震災による計画停電の影響で、電車の本数が減っていることもあり、新学期の当初は9時45分登校に変更されていましたが、駅等の状況が落ち着いたことを受けて、4月18日より通常どおりの8時45分登校に戻りました。

▼2年生が、毎年お世話になっている長谷川さんのところでよもぎ摘みとたけのこ掘りを楽しみました。一緒に参加した親たちが、長谷川さんの用意してくださったたらの芽とたけのこをてんぷら

にし、みんなで味わいました。

▼韓国のミラルドゥレ学校の皆さんから、震災後の励ましのお手紙を沢山いただきました。

▼和光小学校の「安全対策マニュアル」づくりが進められています。備蓄について見直されるほか、駅や駅前交番、商店街と連携して登下校の子どもたちの安全が守られるよう、体制を整えているところです。

▼4/25(月)2011年度私学部引継ぎの会が行われ、正副部長・会計・書記の4役と、父母懇担当3名、推進協担当2名が決まりました。正式には5月13日の親和会総会で承認される予定です。

▼4/264年生が和泉多摩川下流の「水辺の学校」周辺で、川びらきを行いました。子どもたちが摘んだ野草を親たちがてんぷらにして味わったあと、生き物さがしや土手滑りをして楽しみました。

▼5/19(木)第1回私学部会が行われ、今年度私学部の方針の確認、部会日程と活動日程の確認、また各担当の割り振りなどが話し合われます。

和光鶴川小学校親和会

支援募金、応援物資、現地に届けにいきます

▼4/8 新年度が元気に始まりしました。

▼4/12 絶好の入学式日とで53名の新入生を迎えました。2年生から6年生全員で準備をして新入生を迎えるという和光の縦割りがいきた入学式になりました。

▼4/25 今年度初の通学地区別集会、下校がありました。非常時を想定して定期的におこなっています。

▼児童会が中心になって宮城県石巻市桃生町におくるための「東日本大震災に対する募金活動」が4月18日から2週間にわたって行われ、30万9386円が、学校が取り組んでいる支援募金、応援物資とともに、教師数名で現地の人に届けにいきます。

和光中学校親和会

新入生歓迎運動会が開催されました

▼4/8（金）始業式

▼4/9（土）入学式

▼4/15 (金) 親和会役員会が行われました。東日本大震災の経験をふまえ、今後の子ども達の安全確保に関する意見交流をしました。

▼4/20 (水) 新入生歓迎運動会が開催されました。新入生が安心して学校生活を送れるよう「優勝」よりも「交流」を目的として行われ、3年生が中心となって企画、運営しました。

▼4/21 (木) 親和会全体会が行われ、各クラスから選出された、2011年度の委員が集まり、正、副会長も選出されました。その後、各専門部に分かれ、私学部も正副部長等を決め、旧部員からの引き継ぎが行われました。新年度体制が、スタートしました。

和光高校親和会

▼4/16に新年度の役員による全体委員会が開かれ、親和会会長以下専門部3役などの各担当者が決まり、新旧役員で引き継ぎが行われました。

暫定委員会で親和会総会に向けて新役員は、活動方針・予算案を協議決定しました。

▼5/14親和会総会の開催

大東学園高校東和会

地域懇談会開催

2011年度の活動が始まりました！

▼4/12 (火) ~14 (木) 1年生ガイダンス、各学年2者面談。

▼4/15 (金) 2・3年生、授業開始。1年生は4/18 (月) から。

▼4/16 (土) ①東和会会計監査。②総会議案書の発送。今回は、全体的に総会準備が遅れてしまいましたが、おかげで多くの人の力を借りる事が出来、交流の場にもなりました。

▼4/20 (水) 三者協議会事務局会議。引き継ぎと2011年度の活動方針の確認等を行いました。三者で行う活動の第1弾として、5/21 (土) に三者交流会 (三者祭り) を行います。

▼4/23 (土) ①授業参観。学校で、保護者に授業参観のアンケートを行いました。②学年懇談会、学級懇談会。学級懇談会では、東和会専門部委員決めを行いました。③真珠の会運営委員会。2011

年度の真珠の会の執行体制。役割分担を行いました。④東和会総会。【2010年度の活動報告、決算報告。2011年度の活動方針と予算の承認。規約改正 (卓員の担当制の導入、事務局、拡大役員会の常設 (追認)、各部会員の定員を「各クラス1人以上」)、2011年度東和会役員の承認】。鈴木会長に来賓としてご挨拶をいただきました。④第1回役員会。さっそく5/7 (土) の合同専門部会等の打ち合わせを行いました。

▼4/29 (金) 合同専門部会の資料印刷等の準備と詳細の打ち合わせを行いました。

▼5/7 (土) ①合同専門部会。東和会役員と各部会担当教員の紹介、共通事項等の確認を行いました。②第1回専門部会。4専門部の第1回部会と真珠の会運営委員会。専門部は、2011年度の執行体制と役割分担、真珠の会運営委員会は、活動方針に基づき活動内容を具体化する検討を行いました。

③会計担当者打ち合わせ。プロジェクトD事務局会議。3年生専門部会員と教員の懇談会。④拡大役員会。「三線同好会」の新規サークルとしての仮承認。2011年度の当面の活動予定、とうわかい通信」の発行と関プロのもうしこみなどの確認。

⑤地域懇談会。学校法人主催による地域の団体との懇談会に役員3人が出席しました。団地自治会、近隣の町会、行政機関等との懇談で、今年度は、高齢者施設の方が所用で欠席されましたが、かつて大東学園で美術を教えていらした方の関係で、世田谷美術館の方がご出席くださいました。私学といえども、地域に支えられ、地域に根差した教育を行っていく必要を実感する会でした。

*毎年ゴールデンウィーク頃に1年生は遠足を行っていますが、残念ながら今年度は行われませんでした。

電話教育相談

子どもは学校に喜んで通っていますか？
(先生・友だちとの事など)

一人で悩まずにお電話をどうぞ。教育経験豊かな先生方がご相談に応じます。

Tel 03-3230-4060

毎週 月曜日 午後1時~4時

いよいよ関東ブロック 父母懇交流集会近づく！

学校、都県を越えて、私学の父母が交流します。このような会は、父母懇にしかありません。私たちを取り巻く様々な問題を話し合い、子ども達にとってより良い教育を作り出すために、父母懇交流集会にたくさんの父母・教員の方々の参加をお願いします。

会場について注意を！

●第1日：6月11日(土)13時半

会場 明治学院にて

●第2日：6月12日(日)9時

会場 日本青年館にて

第1日自分科会の概要

- ・第1分科会
「私学助成ってなあに？」
- ・第2分科会
「PTAと父母懇、どう違うの？」
- ・第3分科会
「父母懇ってすごい！」
—学費無償に向けて私たちが
がんばってきたこと—
- ・第4分科会
「教室から平和を考える」
- ・第5分科会
「私学っていいね」

・第6分科会
「子ども達の発達を考える」

・第7分科会
「不登校問題を考える」

・第8分科会 「生徒交流」

第2日目 記念講演 尾木直樹氏

「親と教師は子どもの自立を
どう支えるか？」

卒業しても安定した雇用が保障されなくなっているのが今の日本です。このような時代に、子ども達に、社会は、親はどのような希望を与えることができるのでしょうか。健気ががんばる子ども達を支え、自立していってもらうために、親がしなければならないことは何か、また教師が果たさなければならないことは何か、を考える機会にしたいと思います。また私たちは政治を変えるために私学助成運動に今まで取り組んできました。このような子ども達を取り巻く困難な状況を変えるために、政治に対してはどのようなアプローチが必要なのかも、考えたいと思います。

詳細はパンフレットを見てください！

団体署名に取り組めます

6月には、内閣総理大臣と門下大臣に対し、「私学への国庫助成廃止・一括交付金化に反対する要請運動」に取り組めます。

なぜそのような運動に取り組むのかというと、今私たちが営々と築いてきた私学助成が、危機に瀕しているからです。

昨年6月に閣議決定された「地域主権戦略大綱」では、いわゆる「ひも付き補助金」の一括交付金化が大きな柱になっています。高校以下私学への国庫助成は、都道府県に用途限定で支出される「ひも付き補助金」であり、2012年度にも一括交付金化されかねないところに立たされているのです。仮に高校以下私学への国庫助成が廃止され、一括交付金化されれば、私学助成と明示された財源は地方交付税だけで、「私学助成国基準額」(国庫助成と地方交付税の生徒一人当たり単価合計額)は無くなり、県の勝手な判断で私学助成が削減でき、無くすることもできるようになるのです。

現在、経常費助成は、生徒一人当たり単価で各県格差が1.5倍以内におさまっていますが、国庫助成廃止。一括交付金化が具体化されれば、各県経常費助成は削減され、3～5倍の各県格差があった1975年以前に一気に引き戻される可能性があります。こうした事態は、単に私学存続の危機であるだけでなく、独自の理念や精神にもとづく多様な私学教育が失われ、結果として日本の公教育の多様性が失われることにつながりかねないものです。

何としても私学への国庫助成を維持・拡充して経常費の1/2助成を一日も早く実現することが大事です。PTA、専門部など各団体で討議し、要請書への団体署名をお願いします。